

だけで簡単に枯れるので、耕地の輪作に組入れても安全であるといわれている。前記の諸国では輪作に組入れ、五六年位は利用しているようである。

オーストラリアのクイーンズランドでは青酸中毒の危険があるとの理由で一時種子の販売を禁じていたことがあるが、これは実験に先行して農家に普及するのを心配しての措置であったようで、今日では広く自由に栽培されているし、その他の諸国ではむしろ、ステーナングラスやソルガム程中毒の危険は多くないといわれて言っている。

三 わが国における栽培

わが国では、昭和三十五年に、長岡技官がオーストラリアの出張から持ち帰り、農林省長野種畜牧場で栽培したのが最初のようである。ジョンソングラスかステーナングラスの一種と見られていたようで、勿論品種名はわかつていないが、試作したところでは草丈も高く、収量も多い。

農林省中国農業試験場（広島県福山市）

では昭和三十七年度からソルガム属作物に関する研究を始め、各国から一五〇にも及ぶ品種系統を集め、この中にオーストラリアおよび南ローデシアから送られた五種類のコロンブスグラスが含まれていた。わが国で身元の確かなコロンブスグラスが研究の対象になつたのはおそらくこれが最初であろう。

そのうち好成績を収めた二種と長野種畜牧場からの前記の一種について行なつた栽培試験の成績を下表に示そう。

新しい飼料作物

コロンブスグラス の解説



長野系は Bentified によく似て croble

より草丈高くやや晩生である。
栽培密度、施肥法を工夫すればもつと増収が望めそうである。

刈り取り回数、刈り取り間隔等は越冬性に大きく影響するものと考えられるが、この場合降霜直前に一回だけ刈り取つたものに比べて、春の萌芽はよくなかった。この点地域性とも併せてさらに検討の必要がある。

農林省畜産試験場
飼料作物第二研究室長
農学博士

牛乳生産費費目割合 (%)

| | | |
|---------|------|--|
| 飼育労働費 | 22.4 | |
| 資材畜力費 | 1.2 | |
| 飼 料 費 | 55.7 | |
| 購 入 給 | 34.2 | |
| 自 償 却 費 | 21.5 | |
| 償 却 費 | 17.2 | |
| 建 農 物 | 1.6 | |
| 具 牛 | 2.2 | |
| 乳 貨 料 | 13.4 | |
| 料 金 | 3.5 | |
| 計 | 100 | |

コロンブスグラスの生草収量 (kg/10a)

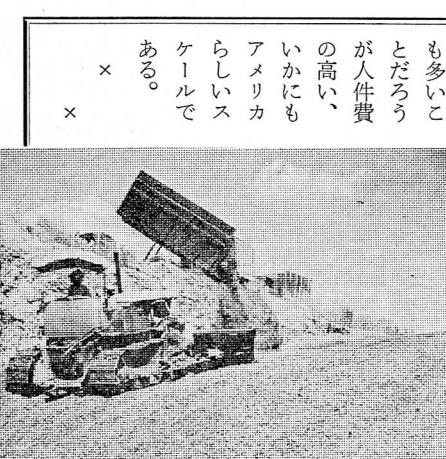
| 品系 種 統 | 1番草 8月14日 | 2番草 9月21日 | 合計 |
|--------------|--------------|--------------|-------|
| | 8月14日 | 9月21日 | |
| 長野系 | 3,386 | 3,269 | 6,655 |
| Cronble | 2,874 | 2,507 | 5,381 |
| Bentified | 3,124 | 2,738 | 5,862 |

注 1 昭和39年6月15日播種
2 施肥量 (kg/10a)
(基肥だけ)
尿素 25 過石 50 硫酸 25
3 密度
畦間 60 cm
株間 15 cm 1本立て

（農林省畜試、千葉市）

海外トピック

一万トンサイロの出現!!



何でもデツカイことをやりたがる米国テキサスで一万トンサイロがつくられた。もっとも、サイロといえば塔型のものが想像されるが、これはトレンドサイロである。テキサスのある家畜会社が一度に大量のエンジンレージを作るために丘の中腹にブルドーザで掘りあげたもので、一つは長さが二一〇尺で一万二千ヶ入り、もう一つは一七五尺で一万ヶ入りを言う。写真は、そのトレンドサイロに、ハイブリッドソルゴムを刈りとつて来たダンプカーが、原料をあけているところで、中央のブルドーザが、ならしながら踏圧している。このトレンドは細いもなく、側壁は掘上げるとき押しかめただけ、底はやや傾斜して水分を流すようになっている。覆もないが、醸酵は塔型サイロと変りなく出来たという。ロスらしいスケールである。